

地域力向上事業（看板事業）

第2回ジュニアジオガイド講座 ～火山がもたらした恵みと人々の暮らしとの関係を探ろう！～

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[共催] 公益財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団 阿蘇ジオパーク推進協議会

[後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会

[期 日] 令和元年9月21日（土）～23日（月） 【2泊3日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇ジオパーク

[参加者] 小学4年～6年生 31名

[講師] 児玉 史郎 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 会長）
河原 武 氏 （環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所国立公園保護管理企画官）
広瀬 顕美 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
宮川 友博 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
山本 俊夫 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
家入 惣子 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
川原美代子 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）

[担当職員] 尾家 義隆（企画指導専門職） 有木園和志（企画指導専門職）
萱野 太一（事業推進係係員） 山川 昇椰（事業補佐員）
米村竜太郎（事業支援室係員）

1 趣 旨

阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と課題解決能力、自ら学ぶ意欲を育成する。さらに、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力を育成する。また、ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞く場を設定することで、自らの将来について考える機会を作る。

2 目 標

- 本事業を通して、児童一人一人が阿蘇ジオパークの実際に触れ、阿蘇ジオパークのよさや素晴らしさに気づき、自然に対する畏敬の念を持つとともに、郷土を愛する心を育てる。
- 観察・実験及び調査活動等の自然体験学習を通して、科学的に探究する力や技能を学ぶとともに、目的を同じにした仲間と協力して課題を解決する力を育む。
- 体験から感じ取ったことや学んだことをまとめ、それを発信することでジュニアジオガイドとしての幅広い知識と表現力を育む。
- ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞き、自らの将来について考える機会をつくる。

3 事業展開

研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
9月21日 (土)				受 付	開 会 式	交 流 ・ 編 成	探 検 班 編 成	昼 食	移 動	【活動1】 大観峰カルデラ ジオサイト探検(大観峰) ・ 火山の神ジオサイト 探検(阿蘇神社)	移 動	入 浴	夕 食	【活動2】 ジオに関する仕事をして いる方の講話 ・ 大観峰ガイド原稿作成 ・ 1日目のまとめ	就 寝 準 備	就 寝

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
9月22日 (日)	朝のこつこい	朝食	出発準備	阿蘇の歴史	【活動3】 -大観峰ガイド体験に向けて- -原稿づくり -ガイド練習	昼食			【活動6】 -大観峰ガイド体験に向けて- -原稿づくり -ガイド練習 -リハーサル -看板作り			入浴・夕食	【活動4】 チームワークを高めるレクリエーション ・2日目のまとめ		就寝準備	就寝

※台風接近の為、日程変更

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
9月23日 (月)	朝のこつこい	朝食	出発準備	阿蘇の歴史	【活動5】 阿蘇黄土ジオサイト探検(日本リモナイト) 大観峰カルデラジオサイト探検(大観峰)	昼食	移動	【活動7】 3日間のまとめ 発表会	終了式・閉会式							



阿蘇神社探検の様子



ガイド原稿づくり・練習の様子



阿蘇黄土ジオサイト探検の様子



大観峰探検の様子

4 成果と課題

(1) 成果

- ・2日目は、台風接近により日程変更になったが、第3回のガイド体験へ向けて原稿づくりや練習を進めることができた。
- ・第1回、第2回の1日目共に大観峰が悪天候だったため、十分な「大観峰探検」ができていなかった。当初3日目は、「阿蘇黄土ジオサイト探検」のみだったが、大観峰へも行けるよう日程を変更した。このことにより、参加者は2日目で書いた原稿や練習の実際を現地にて確認することができた。
- ・前回の反省から、班長は責任感のある高学年の参加者を選出することにした。このことと2日目夜のレクリエーションにより、第1回よりもまとまりのあるグループを作ることができた。

(2) 課題

- ・ガイド原稿が出来上がった分、次回は今回行けなかったジオサイトへ行けるよう計画を立て直したい。
- ・第3回へ向けて、県外メディア(参加者の出身県)へのプレスリリースもかけていきたい。